



April 26th 2018

BGN UNESCO NEWS

Bunka Gakuen Nagano Jr. & Sr. High School No 1

ユネスコスクール加盟2年目！

昨年4月21日付けで、パリにあるユネスコ本部より本校のユネスコスクールへの加盟が承認されました。

ユネスコスクールは、そのグローバルなネットワークを活用して、世界の学校と交流し、生徒間・教師間で情報や体験を分かち合い、共に未来を考え合うネットワークです。異文化理解、エネルギー問題、経済問題、地域紛争問題などを考える機会を持ち、持続可能な社会構築を目指して諸問題に若者が対応できるような新しい教育内容や手法の開発・発展を目指しています。

本校における以下のような教育活動が評価されて加盟承認となりました。(以下の資料H29年度活動)



「異文化理解プロジェクト」

<海外活動>

- (a) オーストラリア修学旅行 (高校2年 11月)
- (b) カナダ修学旅行 (中学3年 10月)
- (c) カナダ語学研修 (中学生高校生の希望者 7月)

<国内活動>

- (a) イングリッシュ・キャンプ (中学1年2年全員 8月)
- (b) インターアクト部「国際交流会」(インターアクト部部員 4,10月)
- (c) 長野マラソン参加外国選手との交流会 (全校生徒の希望者 4月)
- (d) American University of Central Asiaとキルギス第43職業訓練校とビデオレター交流 (高校1年 9月~)
- (e) ワールドフェスタ参加 (中学生全員 11月)
- (f) 郷土料理保存会「ちょうまの会」との交流 (中学1年生全員参加 10月)
- (g) 仏ブレーズ・パスカル大学・教育大学院Didier Jourdan教授によるESD講演 (中高一貫生 11月)



「環境教育・ボランティア教育プロジェクト」

<全校生徒による活動>

- (a) 学校周辺地域の環境保全(10月)
- (b) Kids' ISO14000への参加(中学生)
- (c) 長野環境標語大会(中学生)

<希望者による活動>

- (a) 長野マラソン・長野車いすマラソン大会補助員参加
- (b) 生徒会活動
 - ア) ソロプチミストグループと連携しての地域清掃活動
 - イ) ソロプチミストグループと連携しての「環境フェア」参加
 - ウ) 「届けよう服のチカラプロジェクト」(9月~11月)
- (c) インターアクト部活動
 - ア) 各種募金活動(4,10月)
 - イ) 社会福祉施設訪問支援(8,11月)
 - ウ) 東北被災地支援活動・被災地商品等販売してその収益寄付(5~7月)
 - ・被災地訪問(石巻市の施設訪問及び被災者との交流)(8月)
 - エ) 熊本震災支援活動・地元住民対象に英会話教室を開催その際の参加費を支援金寄付(6月~)



「地球規模の諸問題解決方策プロジェクト」

- (a) 外務省主催 第2回「国連壁新聞」全国大会(中学生徒会執行部 10月)
- (b) 信州グローバルセミナー参加(中学生高校生の希望者 12月)
- (c) 信州ESDコンソーシアム成果発表&交流会参加(中学高校代表者2月)
- (d) 社会科授業での啓発(中3 社会科公民的分野 高1政経)
 - ①地球環境、地域紛争等学び、地球規模の諸問題認識とその解決方策の探求力を育成
- (e) 国際デーの設定(全校生 総合的な学習の時間)
 - 上記①を基に、プレゼン等を通じて課題解決力を育成
- (f) 国際月間(中学生徒会各委員会 9月)
 - ①SDGs 17の目標から、各委員達が調べたいテーマを選び、協働的に探究し合いながら、全校の前でプレゼンすることを通して課題解決力を育成
 - ②Q&A Book作成。全校で更に問題を探る
- (g) 第9回ユネスコスクール全国大会への参加(国際理解教育委員長 12月)
- (h) ユネスコ寺子屋運動 ①缶アート②書き損じハガキ(全校生7月・1月)



<ESD: ユネスコスクール活動の目指す教育>

文部科学省および日本ユネスコ国内委員会では、ユネスコスクールを「持続可能な開発のための教育」Education for Sustainable Developmentの推進拠点と位置づけています。

次号は・・・「ESD」について